



2015年度 決算説明会 イビデン株式会社 (4062)

2016年5月2日

このプレゼンテーション資料には、2016年4月27日現在の将来に

関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。

世界経済・競合状況・為替変動等にかかわるリスクや不確定要因

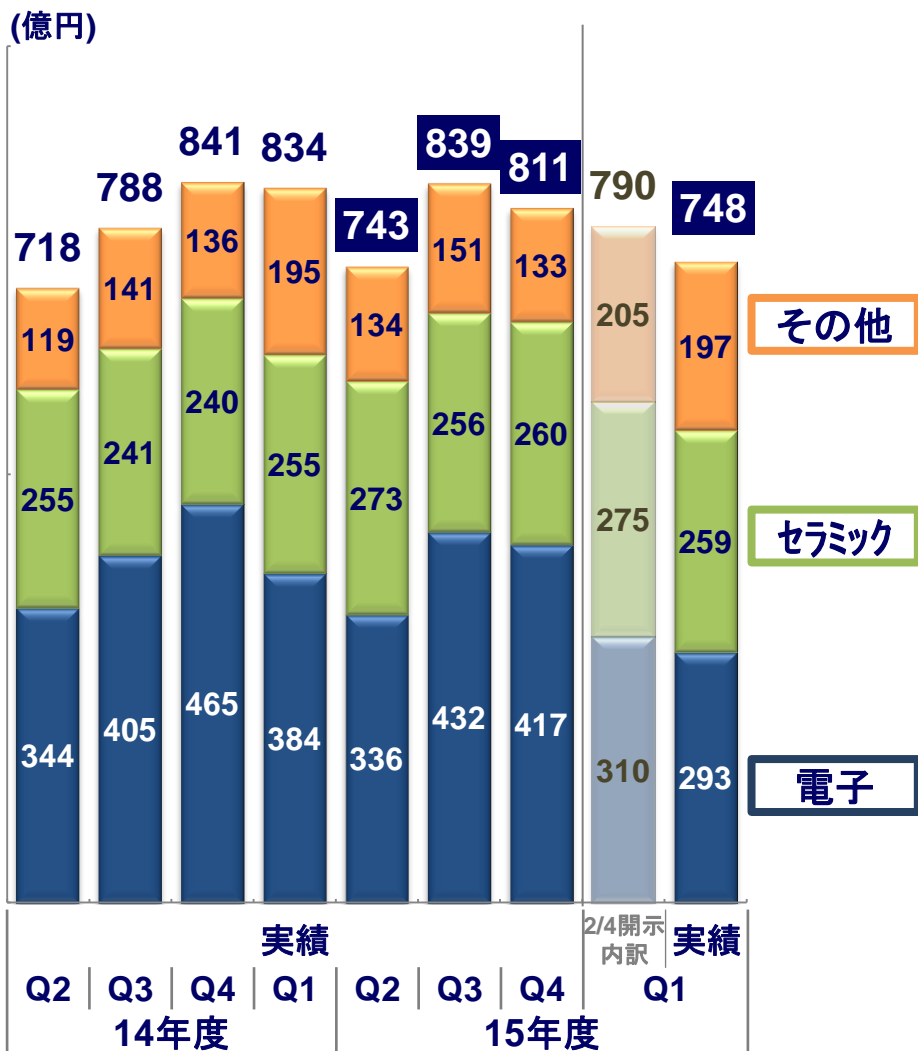
により実際の業績が記載の予測と大幅に異なる可能性があります。

2015年度 実績

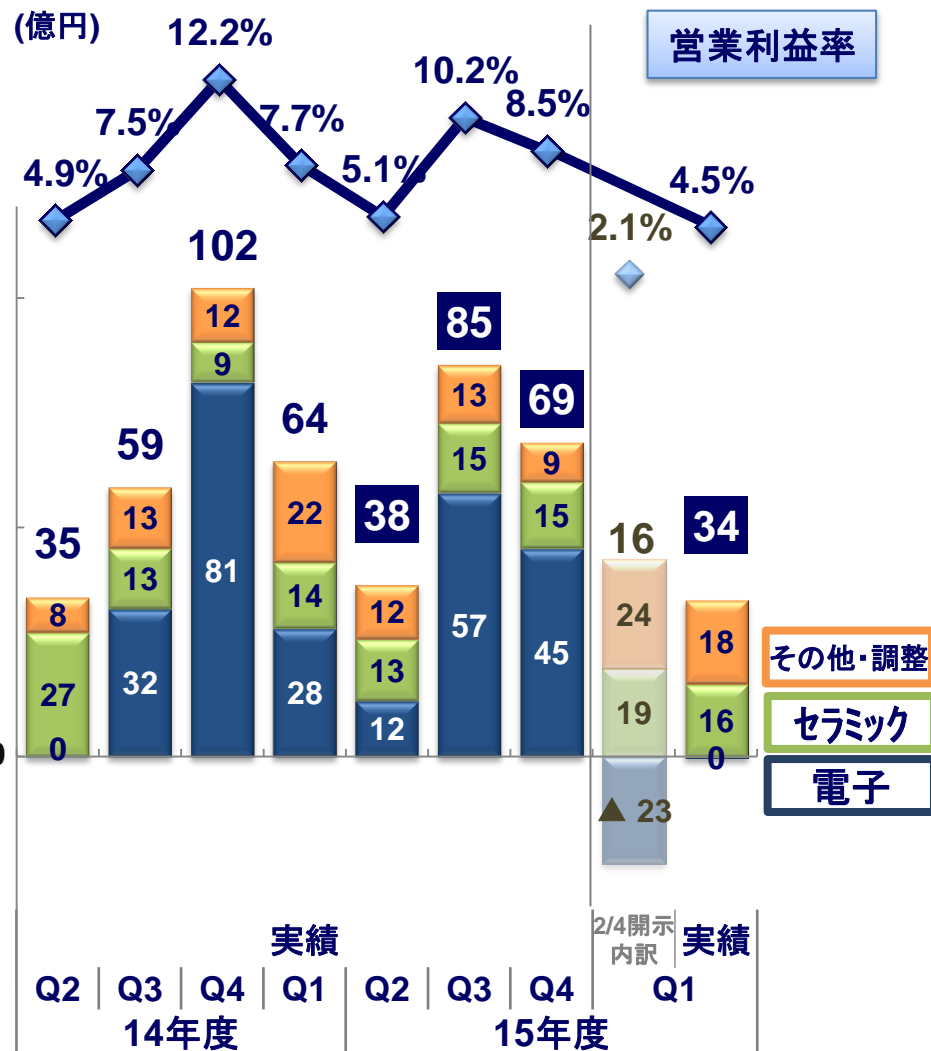
2015年度(四半期) 売上高・営業利益 実績



売上高(単位: 億円)



営業利益(単位: 億円)



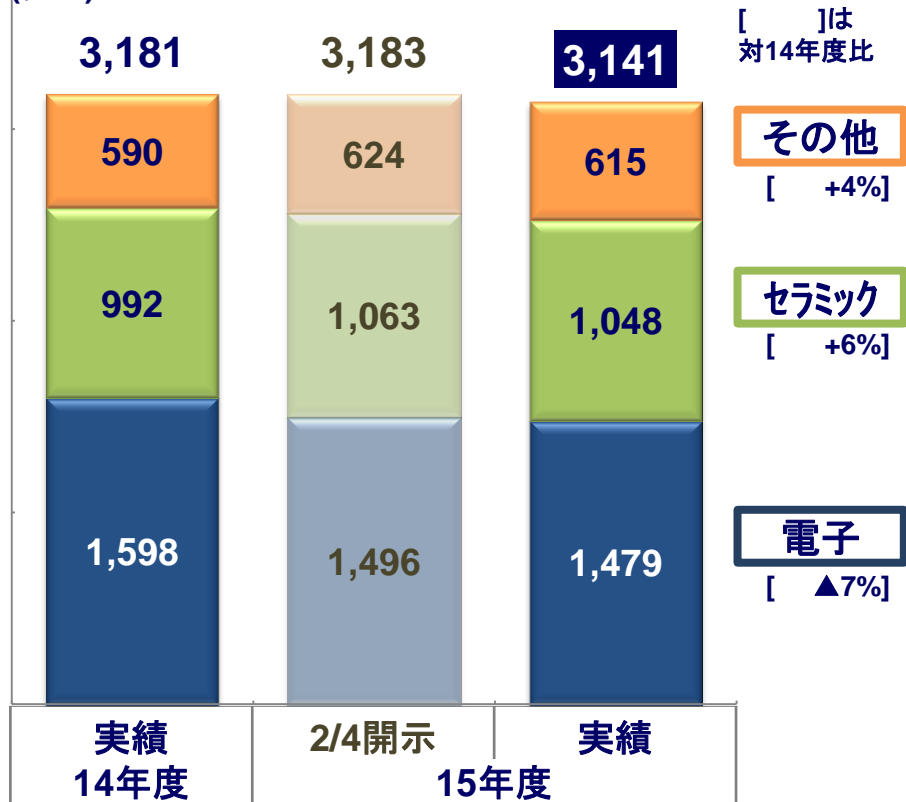
2015年度(通期) 売上高・営業利益 実績



売上高(単位: 億円)

対14年度比
▲1.2%

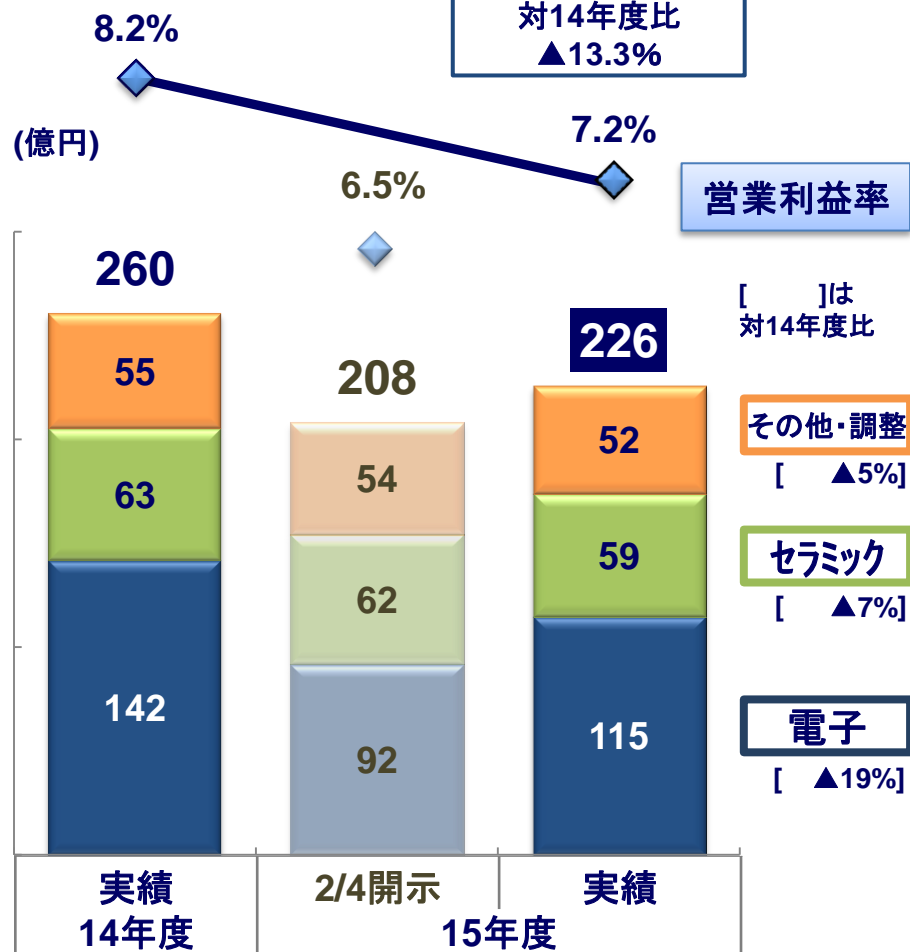
(億円)



営業利益(単位: 億円)

対14年度比
▲13.3%

(億円)



107	120	120	為替(ドル)
138	132	132	為替(ユーロ)

2016年度 収益見通し

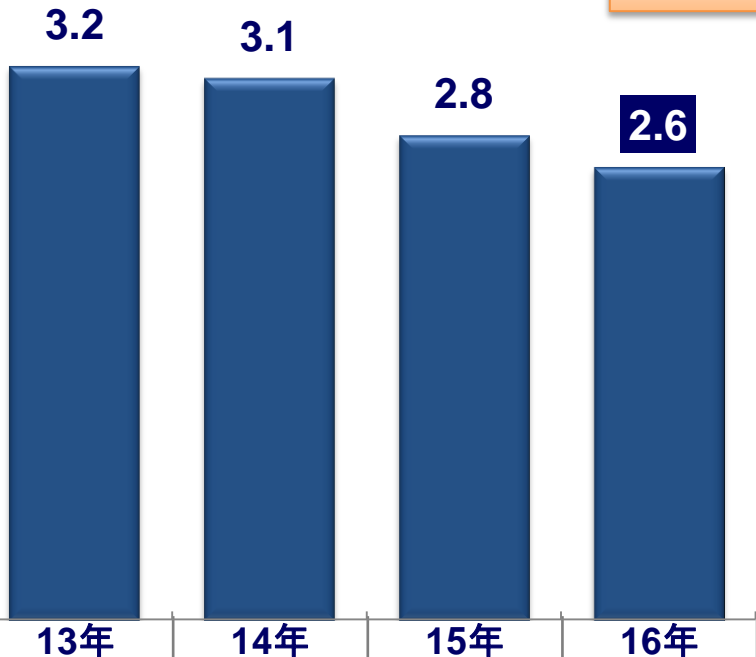
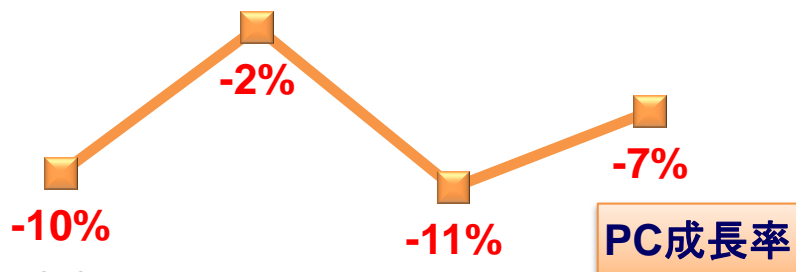
[電子]市場動向 = パソコン・ハイエンドスマホ市場の伸び悩み =



パソコン市場 (PKG)

(単位:億台)

※ヒューズ調べ



CY

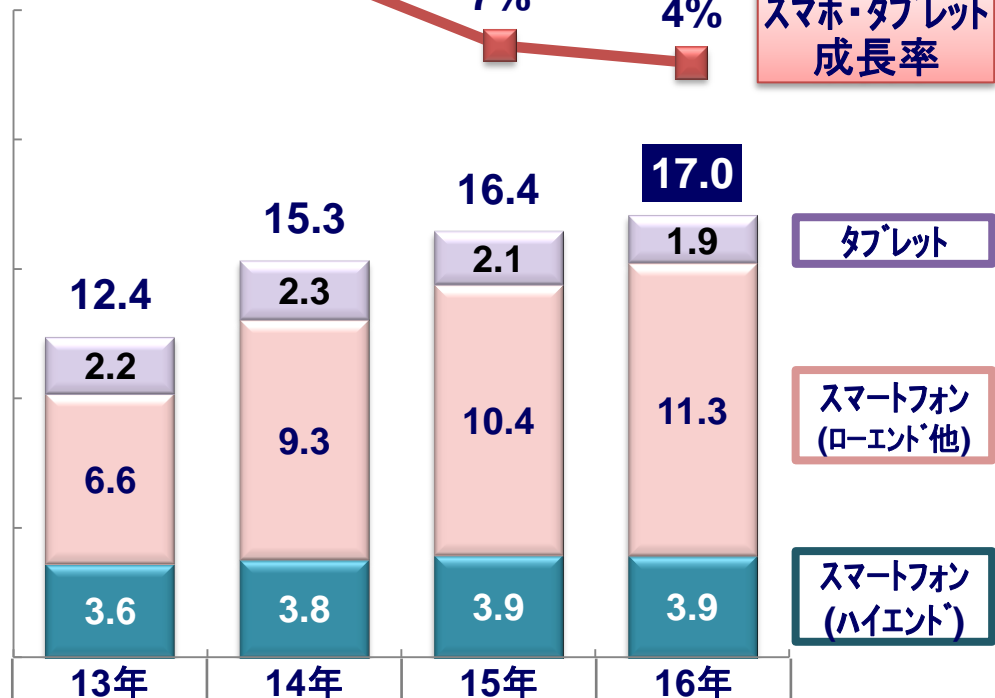
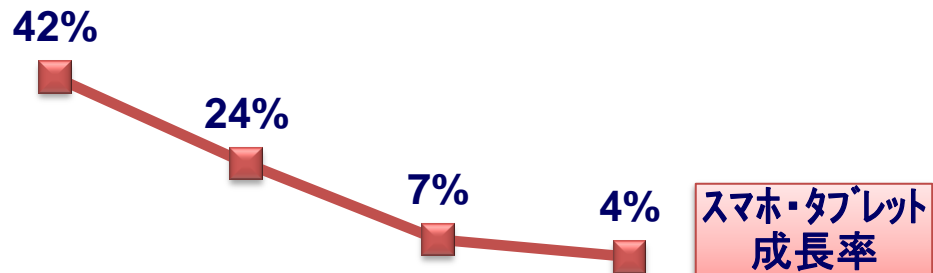
実績

予測

スマホ・タブレット市場 (CSP・PWB)

(単位:億台)

※ヒューズ調べ



CY

実績

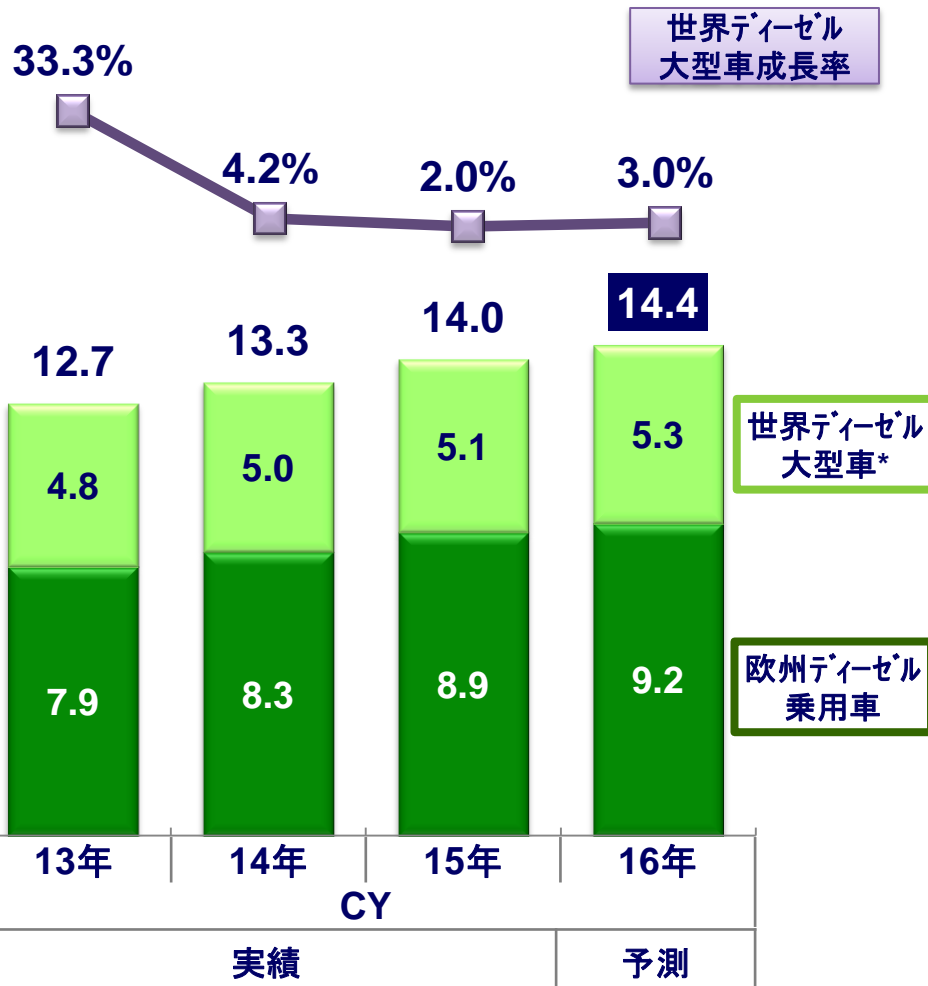
予測

[セラミック]市場動向

DPF市場

(百万台)

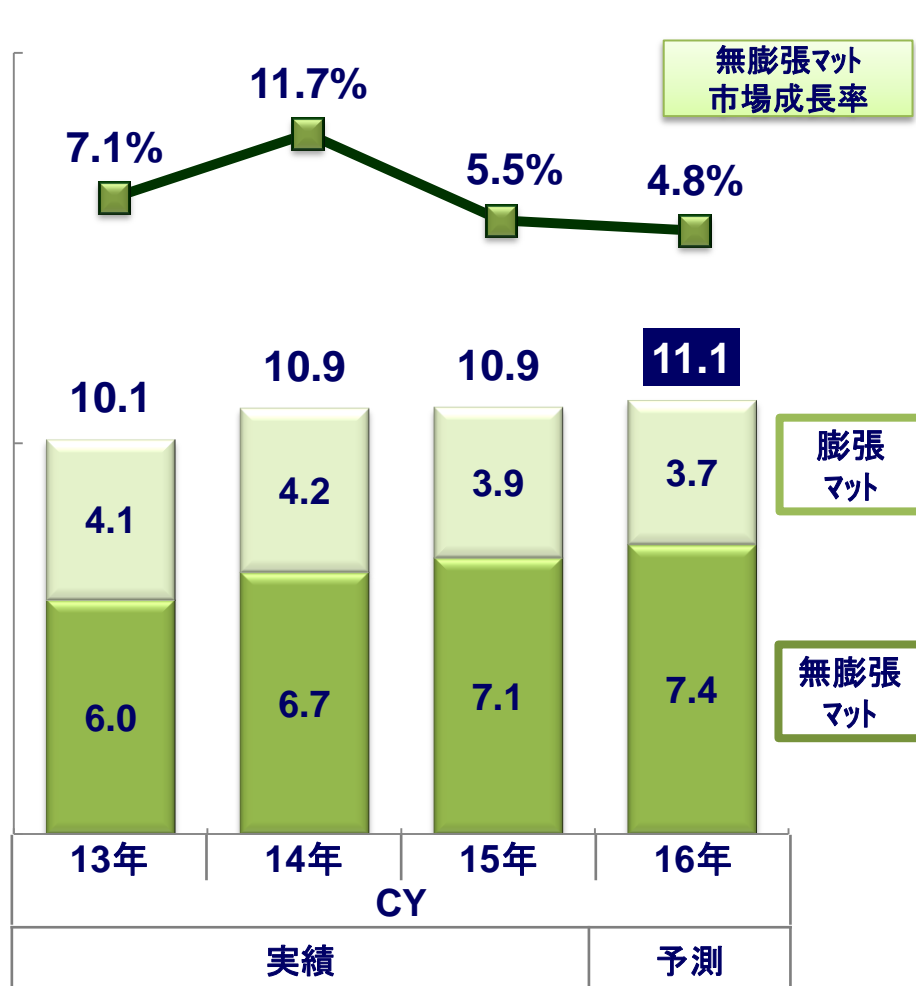
※化デン調べ



マット市場

(千ton)

※化デン調べ



*建機・農機含む(乗用車の約3倍換算)

課題1. 電子事業の売上減 (14年度 →15年度:▲ 7%、15年度 →16年度:▲20%)

■ 事業環境の変化

- (1) PC市場 : 15年→16年 ▲10%/年 減少
- (2) スマホ市場 : ハイエンドが頭打ち
- (3) タブレット市場: マイナス成長入り
- (4) スマホ用CSP: 一部がFO-WLP化
- (5) 為替レート : 15年度→16年度
(USDollar) ¥120 ¥110 (8%円高)

■ 当社の対応

- (1) 最先端領域の取り込み継続
- (2) 顧客窓口の拡大 (中国メーカー等)
- (3) 裾野の拡大:
ハイエンドからミドルエンドへ
- (4) 用途の拡充:
サーバー・モジュールからIoT・車載へ
(16年度 →17年度:+20%へ)

課題2. 三本柱『電子・セラミック・その他』で経営を安定させる

■ セラミック事業:

グローバル生産体制の構築完了(14-16年度) →17年度収益につなげる

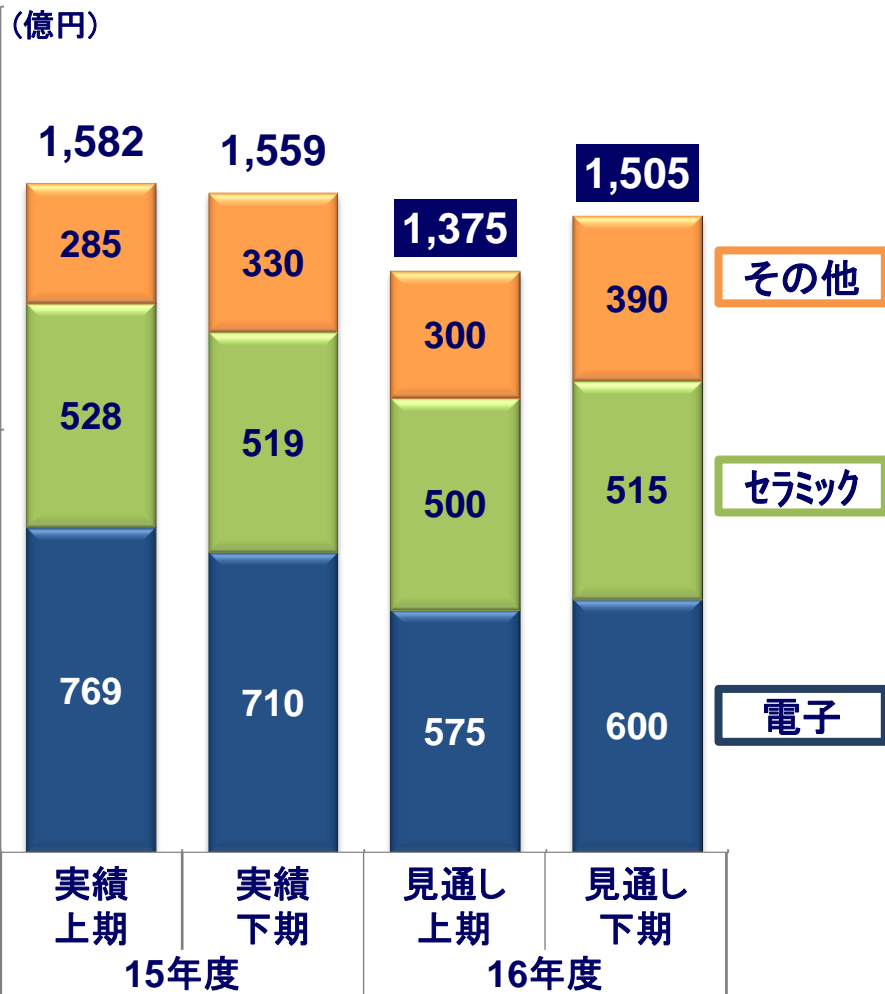
■ その他事業(電力事業+国内事業):

技術開発と連携し、特色ある新製品で事業拡大

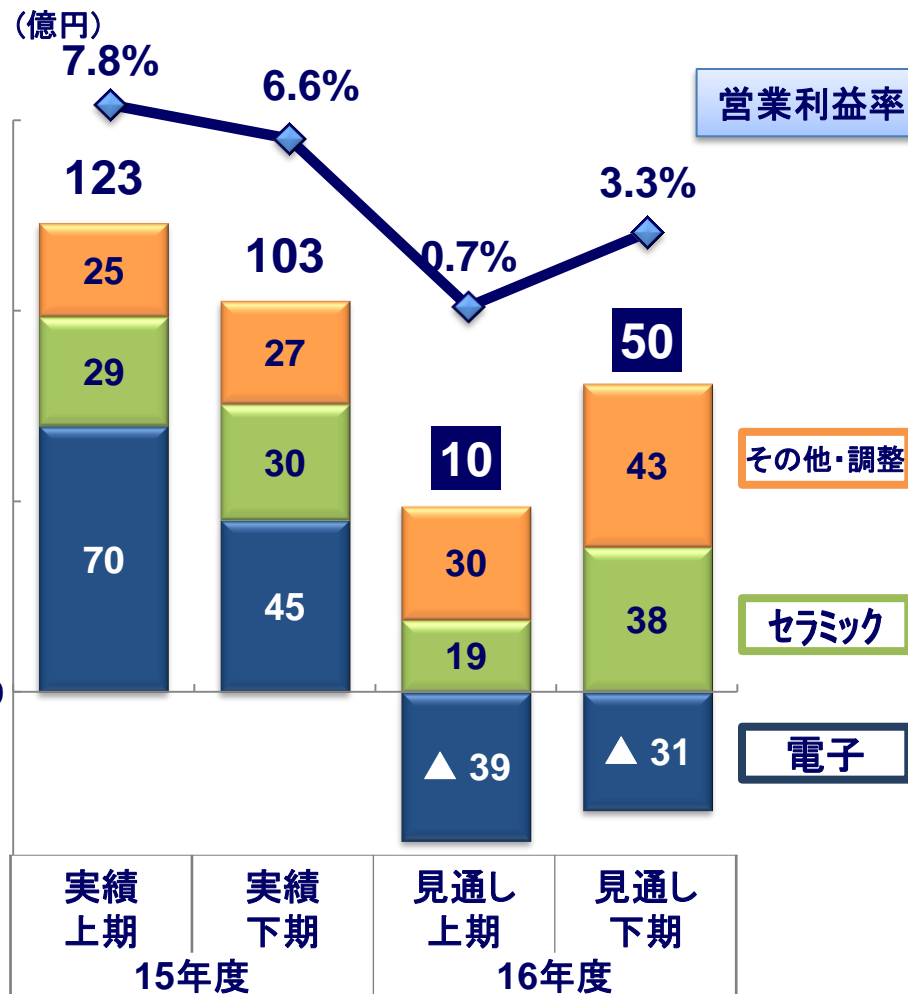
2016年度(半期) 売上高・営業利益 見通し



売上高(単位: 億円)



営業利益(単位: 億円)

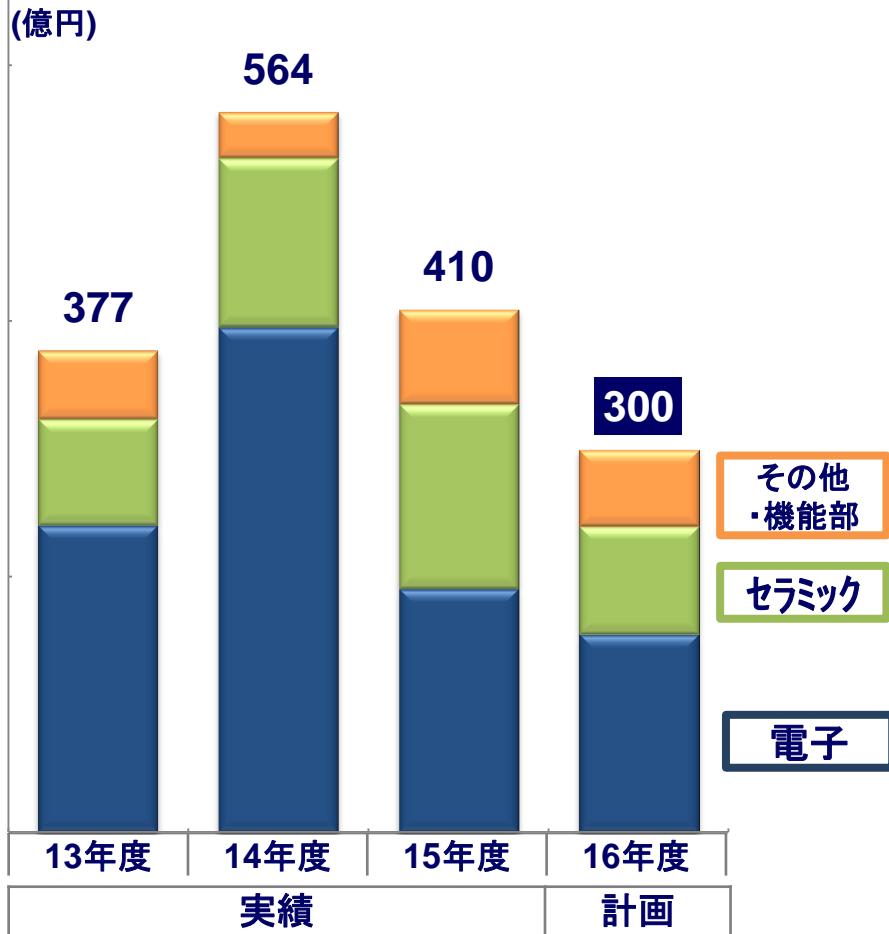


121	119	110	110	為替(ドル)
133	130	120	120	為替(ユーロ)

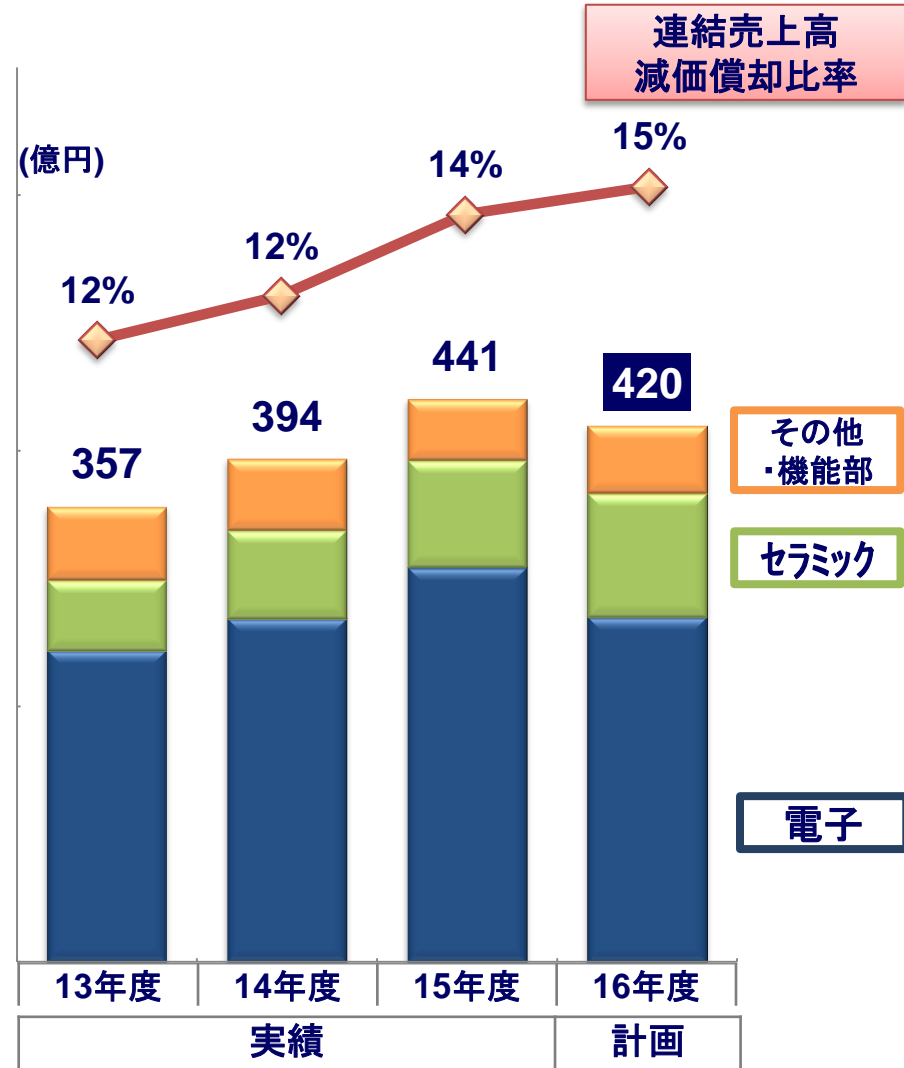
設備投資額・減価償却費の計画

設備投資額(単位: 億円)

【電子】 ファイン化対応投資
【セラミック】 グローバル生産体制の構築



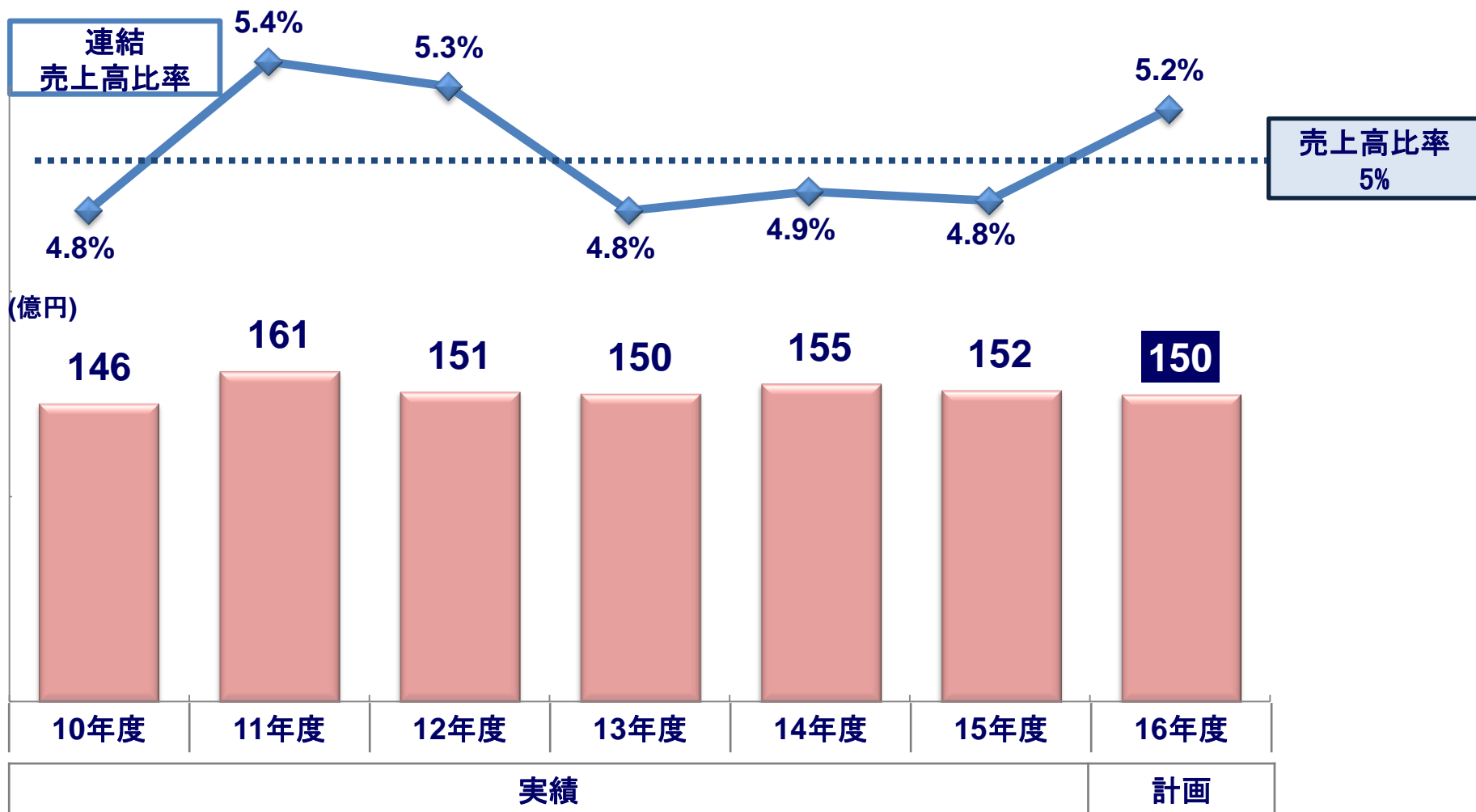
減価償却費(単位: 億円)



技術開発・開発プロジェクトの計画



技術開発・開発プロジェクトの費用
(単位: 億円)

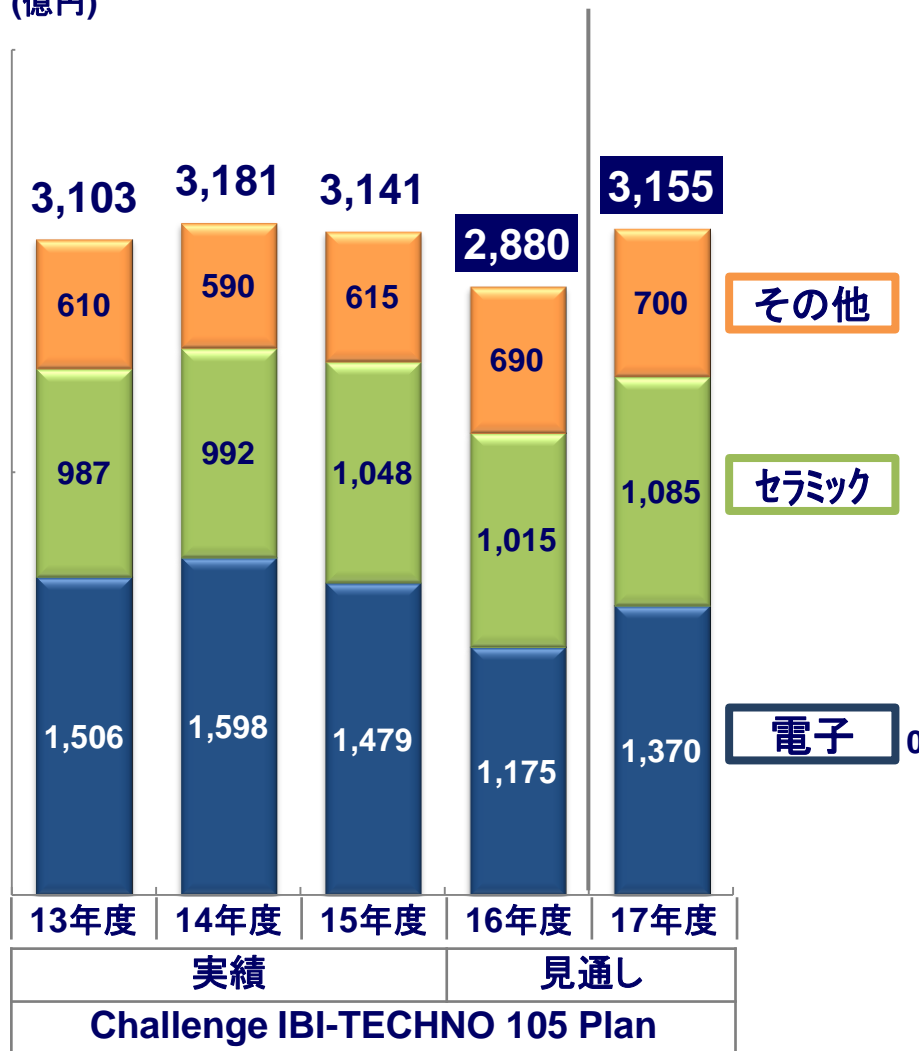


現中期経営計画(5カ年) 業績見通し



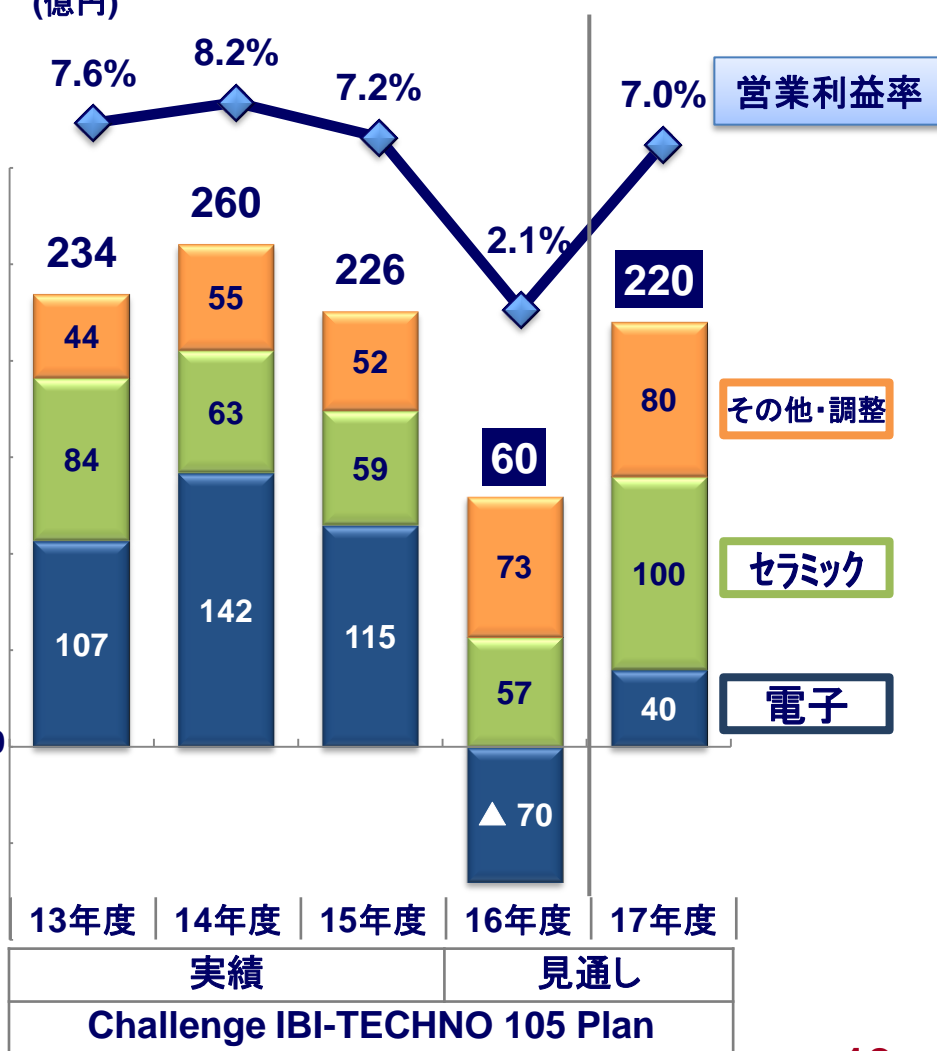
売上高(単位: 億円)

(億円)



営業利益(単位: 億円)

(億円)



株主還元

株主還元

【基本方針】

1. 安定配当の継続
2. 配当性向30%を目安

一株当たり配当金



■ 配当性向

10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度
29.2%	40.3%	187.8%	23.7%	25.3%	63.3%	-

■ 自己株式の取得・消却 (百万株)

取得	-	2.3	5.0	-	-	5.0	未定
消却	-	-	-	-	-	10.0	